

(A)「下呂地域医療×デジタル連携協議会」について

分野	医療
地域課題を抱える地域	下呂市全域
地域課題名	医師不足が深刻化する中での効果的な医療提供
地域課題の具体的な内容	<p>下呂市では医師、特に専門医が不足している。専門医に受診するためには、遠方の医療機関まで受診しなければならない。</p> <p>令和4年9月に「下呂地域医療×デジタル連携協議会」を設置、令和5年3月までに計4回開催し、地域医療の現状を克服するために、医療DXを活用し、遠隔診療やネットワーク構築による円滑な地域医療の提供、地域包括支援システムの構築の検討を開始した。</p> <p>また、令和4年12月には市内の基幹的な病院の担当者による担当者会議を実施するとともに、デジタル技術を活用した医師不足対策の参考とするために、くまもとメディカルネットワークの事業主体である熊本県医師会へ視察を行った。</p>
地域課題について、その解決の必要性	<p>令和5年度において、市内におけるクラウド上で運営される地域医療プラットフォームの構築に取り組んでいくこととしている。</p> <p>プラットフォームには、市内の医療施設が参加し、患者の同意を得た上で、医療情報等を共有、蓄積する。地域の病院や専門医がいる病院と画像を相互活用などによる各種メニューによって構成し、令和5年度の協議会において各種メニューや活用内容などを協議し、プラットフォーム構築を行っていくプロジェクト案とする。</p> <p>また、「構築に向けた問題点」を4つ掲げており、4つの問題点についても対応、検討していくこととする。</p> <p>①確実に活用してもらうための機能を有するシステムとして、利用者間の双方向性。医療と介護の連携 他</p> <p>②コンプライアンス上のマニュアル等の整備を行うため、個人情報保護法に関するマニュアルの作成（共有の同意等に関する手続等）。医療情報システムの安全管理に関するガイドライン（第5.2版）を反映したシステム運営基準の作成 他</p> <p>③システム・データの標準化の検討（診療データの標準化（SSMIX, HL7 FHIR）。ソフトウェアの互換性）</p> <p>④導入コストの負担軽減を図るための検討。補助金や基金などの活用（導入側への費用負担が重くならないようにする。）</p>

別添 2 地域課題の概要

	<p>令和 5 年度は市内医療機関を中心としたプラットフォームの構築をプロジェクトとして取組む。令和 6 年度以降は、薬局・介護関係の施設も参加した、在宅等のモバイルでの活用や、市外医療機関との連携などにより、地域医療プラットフォームの拡張の検討をすることとしている。</p>
<p>連携して取り組むと効果的な近隣市町村</p>	<p>高山市（二次医療圏）</p>
<p>参画を希望する団体</p>	<p>中部国際医療センター 高山赤十字病院 高山久美愛厚生病院 岐阜大学医学部各医局</p>
<p>地域課題の解決により見込まれる成果や将来像</p>	<p>少子高齢化社会による医療の増大・人口減少に伴う医療人材不足への問題の解消が期待できる。</p>

(B)「加茂郡白川地域公共交通×デジタル連携協議会（仮称）」について

分野	社会インフラ・建設業
地域課題を抱える地域	白川町全域 +東白川村（一部）
地域課題名	公共交通・デマンドバスの運営効率化
地域課題の具体的な内容	<p>白川町の公共交通は、民間事業者の路線バスと町営の予約制バスにより地域全体を移動できる環境を整備している。通学や買い物、通院など様々な目的で公共交通を利用する方に対してきめ細かいサービスを提供するため、多くの人員や予算を投入して維持している。また、予約状況や配送状況の確認が人的管理にゆだねられているためヒューマンエラーや非効率的な運営がみられる。持続可能な公共交通の運営のために、効率的で効果的なバスの予約管理システムの構築を図る必要がある。</p> <p>一方で、高齢化と過疎化により高齢ドライバーの増加と運転手不足が予想されている中で、町内外への農産物の輸送について心配される声も聞かれる。今後は農産物や生活必需品等の輸送方法について、安全性の向上や集荷などの効率化に対して地域交通と連携した課題解決方法を検討していく。</p>
地域課題について、その解決の必要性	<p>持続可能な地域公共交通の運営には、サービス水準を維持しながら費用の削減や人員配置の効率化を図るため効果的な予約管理システムの構築が必要である。</p> <p>また、公共交通網の活用についても、貨客混載の可能性を探ることにより、地域経済の活性化や環境保全を図ることができる。</p>
連携して取り組むと効果的な近隣市町村	東白川村（地域公共交通網）
地域課題の解決により見込まれる成果や将来像	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 運行効率化による費用軽減</li> <li>・ 予約システム活用による利用者・事業者の利便性向上</li> <li>・ いつまでも住み続けられる暮らしの足を守る将来像</li> </ul>